



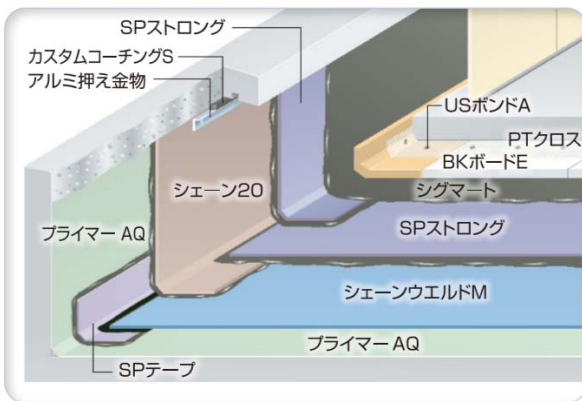
[審査証明番号/有効期限]	BCJ-審査証明-276/2026年7月11日
[技術の名称]	環境配慮型改質アスファルト防水工法「シェーン密着工法」
[依頼者(審査証明取得者)]	日新工業株式会社

[技術概要]

本技術は、平場部1層目に常温施工の粘着層付改質アスファルトルーフィング又は改質アスファルトルーフィング及び低煙・低臭タイプの防水工事用アスファルトを用い、2層目ルーフィング類に低煙・低臭タイプの防水工事用アスファルトを用いて積層する改質アスファルト防水工法である。

本工法は、既存工法であるアスファルト防水の屋根保護防水密着工法・屋根保護防水密着断熱工法に対応する技術である。

■保護防水仕様例 (FM-2、増し張りあり)



平場部

工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマーAQ	0.2
2	シェーンウエルドM	
3	SPストロング シグマート流し張り	1.2
4	シグマート刷毛塗り	1.5
5	PTクロス	

立上り部

工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマーAQ	0.2
2	SPテープ(コーナー増張り) シグマート流し張り	1.2
3	シェーン20 シグマート流し張り	1.2
4	SPストロング シグマート流し張り	1.2
5	シグマート刷毛塗り	1.5

[開発の趣旨]

既存アスファルト防水熱工法は、防水工事用アスファルトを用いてルーフィング類を3~4枚積層して防水層を形成する工法である。このアスファルト防水熱工法には、水密性の信頼性が高い反面、次のような問題点がある。

- (1) ルーフィング類を3~4枚積層して防水層を形成するため、使用材料及び作業工程が多い事による作業負担の問題。
- (2) 防水工事用アスファルトを作業現場で溶融するため、溶融アスファルトから発生する煙・臭いによる環境上の問題。

本工法は、平場部1層目に常温施工の粘着層付改質アスファルトルーフィング又は改質アスファルトルーフィング及び低煙・低臭タイプの防水工事用アスファルトを用い、2層目ルーフィング類に低煙・低臭タイプの防水工事用アスファルトを用いて積層する改質アスファルト防水工法とすることで、作業工程数を削減し、さらに環境影響の軽減を図ることを目的として開発したものである。

[開発目標および審査証明結果]

本技術において、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 既存アスファルト防水熱工法と同等の防水性能を有するものと判断される。
- (2) 既存アスファルト防水熱工法と比較して、作業負担や環境負荷を軽減するものと判断される。

[本技術の問い合わせ先]

日新工業(株) 営業統括部屋上関連事業推進室
TEL : 03-3882-2571